

株式会社UL Japan 寄付講座



MEIJI
UNIVERSITY

製品の安全学入門 機械安全とリスクアセスメント

明治大学リバティアカデミー ビジネスプログラム

ごあいさつ

- 寄付講座開設にあたって -

株式会社UL Japanは、米国に本部をおきますUnderwriters Laboratories Inc (略称UL)の日本法人で、製品の安全性試験、認証やEMC測定などを主たる業務としており、米国のみならず日本を含んだグローバル市場を対象として事業活動を展開しています。

ULは1894年に米国シカゴに設立され、その100年以上に亘る長い歴史を消費者や社会のための製品安全の確保に向けて努力してきた組織です。その使命を「公共安全の推進」ということにおき、その達成のため、安全規格の開発から実際の安全試験や認証マークの発行までを手がけておりますが、さらに、児童を含む一般社会を対象にした安全への啓蒙活動などにも注力しています。このたびは、明治大学の協力を得て、広い意味でのULの公共安全の推進という使命達成の一環として寄付講座を開設することとなりました。この講座をきっかけに安全な社会の構築に少しでも貢献できることをULとして切に願うものです。



株式会社UL Japan

本社 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町3600-18

東京本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル6階

U R L <http://uljapan.co.jp>

B
u
s
i
n
e
s
s
p
r
o
g
r
a
m

MEIJI UNIV. Liberty Academy

講座コード
08210041

株式会社UL Japan寄付講座 明治大学安全研究所共催

製品の安全学入門

多発する製品事故はなぜ起きるのか、安全確保とリスク評価の方法を考える

セミナーの目的

ガス湯沸かし器の一酸化炭素中毒やシュレッダーによる幼児指切断事故など、家庭での製品による痛ましい事故が多発しています。製品の安全はどのように確保されるのか。安全の概念について学習した後、具体的な事例を基に、技術、ヒューマンファクタ、社会規範・法制度、消費者の権利、誤使用事故防止など、多面的に安全の確保の方策を考えます。

講座概要

コーディネータ	向殿 政男 明治大学理工学部長、教授	回数	6回(3日間)
場所	駿河台校舎リハティタワー 15階1156教室	受講料	5,000円(一般) 4,500円(法人)
曜日	土曜日	教材	オリジナルレジュメ
時間	13:00~16:10	ポイント	★
定員	50名		



*法人会員料金は、「リハティアカデミー法人会員」にご入会いただいている企業の方の料金です。法人会員の詳しいご案内は、事務局までご請求ください。

講座日程・内容 ◆◆◆◆◆

回	日程	タイトル・内容	講師
I	10月4日 (土)	1.安全学概論 安全とは何か。安心とは違うのか。技術は安全を確保できるのか。人間はどこまで安全を確認できるのか。安全確保のために誰が何をすればよいのでしょうか。	向殿
II		2.製品の誤使用 製品の誤使用を防ぐのは、誰か。設計か、生産か、保守点検か、否、お客様自身なのか。誤使用はいかにしたらなくなるのでしょうか。	長田
III	10月11日 (土)	3.安全管理と保証 安全管理はどのように行われるのか。また、安全確保と保証の関係はどのように考えればよいのか。現在の法制度と共に考えます。	高杉
IV		4.製品のリスクアセスメント リスクアセスメントプロセスが国際規格の中で標準化されましたが、安全の重要性は事故が発生すると改めて認識されるという傾向があります。安全が見える形で表現し、事故発生前に、受け入れ可能な安全レベルに対する社会の合意を形成してゆくことが課題となります。	松本(浩)
V	10月18日 (土)	5.製品の認証について 消費生活用製品の安全性確保のためには、製造メーカの責任と共に流通事業者と消費者の役割も重要です。このとき、製品の安全認証や安全マークの果たす役割が極めて大きいのです。本講義では、世界の製品安全認証を紹介しつつ認証制度の役割につき考えます。	阿部
VI		6.製造者の責任とユーザの知る権利 事故、故障が起きたとき、その責任はどのような時に、誰が追うのか。製造者、利用者、販売者、最終顧客など、様々な立場から考えます。	松本(俊)

コーディネータ講師紹介 ◆◆◆◆◆



向殿 政男(むかひの まさお) 明治大学理工学部長、教授
明治大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。明治大学工学部電気工学科専任講師、同電子通信工学科教授を経て、現在、同理工学部情報科学科教授で、理工学部長兼理工学研究所委員長。専門は、フジィ(あいまいの科学)理論、人工知能、機械安全。元日本フジィ学会会長、日本信頼性学会会長。現在、日本学会講演委員会、安全技術応用研究会会長。



松本 浩二(まつもと こうじ) 株式会社UL JAPAN 製品保証部 部長
元東芝医用システムエンジニアリング(株) 参考。
(株)東芝入社後、医療機器事業部門において製品開発業務に従事。その後、PS(製品安全)専門家としてPSシステム構築、PSレビュー業務を担当。現在、東芝医用システムエンジニアリング(株)のPSアドバイザー。専門は、リスクアセスメント及び評価・対策技術としてのR-Map手法の研究と実践。(財)日科技術R-Map実践研究会統括主席。



長田 敏(ながた かつし) 製品評価技術基盤機構製品安全企画課長
2002年からNITEにおいて事故情報収容制度を担当。NITEが収容調査し公表している事故情報件数は年間2千件以上に上り、02~05年度に収容調査した情報によって誤使用事故と年齢等の関係を分析。また、05年度には消費者向けと事業者向けの2つの誤使用事故防止ハンドブックを作成。工業会等を対象にハンドブックの考え方について普及活動を行った。



阿部 勇治(あべ ゆuji) 株式会社UL JAPAN 製品保証部 部長
事務機器メーカーで国内外の電気製品安全認証取得を担当後、電気製品安全認証を展開するULの日本に於ける活動拠点であるUL JAPANで国内外の電気製品安全認証発行業務を立ち上げ、現在は同社の製品保証部長。



高杉 和徳(たかすぎ かずひろ) 製品安全コンサルタント
(株)東芝・DM社の製品安全専門家を経て現職。(財)家電製品協会、(社)電子情報技術産業協会等の製品安全、品質マネジメントシステム、適合性評価システム等の委員長、主査等を歴任。日本工業標準調査会・適合性評価部部長、JNLA電気分科会、JIS標準作成委員会、電気用品調査委員会・部会委員等を歴任し、家電製品の基準・認証制度の創設・運営に従事。



松本 俊次(まつもと しゅんじ) 技術コンサルタント、技術士
千葉大学工学部卒。千代田化工建設(株)を経て、技術コンサルタント(技術士)としてセーフティーエンジニアリングおよびマネジメントに関する指導業務に従事。日本機械工業連合会の機械安全や、愛知万博のロボットの安全性を検討する委員会等に参加。著書に、「PL予防のための製品安全ノート」、「安全設計のためのリスクアセスメント手法」などがある。従事。

この講座のお申込は、「電話」「FAX」「メール」にてお受けしております。ホームページからの「オンライン申込」はご利用いただけません。

Tel 03-3296-4423 FAX 03-3296-4542 Mail academy@meiji.ac.jp

講座コード
08210042

株式会社UL Japan寄付講座 明治大学安全研究所共催

機械安全とリスクアセスメント

職場の安全を点検する!生産、作業現場の安全確保とは

セミナーの目的

ものづくり安全の基本は、安全な機械を使って安全に作業すること、すなわち、安全な機械を設計して、安全な生産ラインを構築し、安全な職場で作業をしなければなりません。この講座では、機械安全の包括的基準や国際安全基準の理解を起点として、リスクアセスメントの実施を中心に、リスク管理、リスク評価、また制御安全の考え方などを講義し、トヨタ式生産システムを事例に、安全活動の実践方法を習得していただきます。

講座概要

コーディネータ	向殿 政男 明治大学理工学部長、教授	回数	6回(3日間)
場所	駿河台校舎リパティタワー 9階1093教室	受講料	5,000円(一般) 4,500円(法人)
曜日	土曜日	教材	オリジナルレジュメ
時間	13:00~16:10	ポイント	★
定員	50名		



*法人会員料金は、「リパティアカデミー法人会員」にご入会いただいている企業の方の料金です。法人会員の詳しいご案内は、事務局までご請求ください。

講座日程・内容

回	日程	タイトル・内容	講師
I	11月8日 (土)	1. 機械安全と包括的安全基準 機械の安全はいかに担保されるのか。機械安全の概念と取り巻く状況について、包括的基準を軸に解説します。	向殿
II		2. 国際安全基準の考え方 国際安全基準では、リスクアセスメントと3ステップメソッド/技術基準が機械の安全性確保のための方法論として規定されています。国際安全基準のうち、最も基本的かつ広範な内容をもつ基準にISO12100 (JIS B 9700)があります。このISO12100に基づき、これら方法論について、特に、3ステップメソッド/技術基準について説明します。	宮崎
III	11月15日 (土)	3. 機械安全におけるリスクアセスメント ISO12100 (JIS B 9700)基本安全規格の第1部で示されるリスクアセスメントの原理を解説すると共に、複数の産業用機械の他に公共施設や家電製品を含めてその適用例を示します。	蓬原
IV		4. 制御システムにおける安全 機械の安全を確保するための制御システムの設計ガイドとしてISO13849-1が改定されました。その内容を信頼性と構造の観点から、事例を交えて解説します。特に、安全管理のリスク評価のなかでも中心となる制御システムの安全確保について、事例を交えながら解説します。	川池
V	11月22日 (土)	5. 労働安全分野におけるリスクアセスメントと保護方策 重大災害はむしろ増大の傾向にあります。これらの現象の背景にある根本問題について考察を行うと共に、労働安全分野を対象とした新たなリスクアセスメント手法と保護方策のあり方を提案します。	梅崎
VI		6. 生産現場での安全活動—トヨタ式安全活動の事例を通じて— 安全な職場こそ、安全な機械を生産できる—トヨタ式安全活動はいかに行われ、どのような成果を上げたのか。トヨタにて安全活動の責任者であった講師が、その実態を講義します。	古澤

コーディネータ講師紹介



向殿 政男(むかいのまさお) 明治大学理工学部長、教授
明治大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。専門は、ファジィ(あいまい)の科学、理論、人工知能、機械安全。元日本ファジィ学会会長、日本信頼性学会会長、現在、安全技術応用研究会会長、日本学術会議安全工学専門委員会委員長。



川池 襄(かわいけのほる) ものづくりITコンサルタント、労働安全コンサルタント
大阪工業大学電子工学専攻、オムロン株式会社にて欧州現地法人のPLCのプロダクトマネージャー、販売会社および製造会社の社長を歴任。28年間の欧州滞在経験を生かして安全事業の立ち上げに貢献。日本機械工業連合会の役員を歴任。現在、ものづくりIT、労働安全等のコンサルタント業を営む。



宮崎 浩一(みやざきこういち) 日本機械工業連合会標準化推進部
明治大学大学院工学研究科基礎理工学専攻博士後期課程修了、学術博士。社団法人日本機械工業連合会標準化推進部、ISO/TC 199 国内審議委員会幹事、ISO/TMB TAG Guide78委員、その他、(元)CEN/C114/SG(欧州標準化機構)委員、(元)人間特性基盤整備推進委員会委員など。



梅崎 重夫(うめざきしげお) (独)労働安全衛生総合研究所 上席研究員
博士(工学)。28年の電機会社勤務の後、1983年労働者入会、労働基準監督署で安全衛生業務に従事した後、1987年労働省産業安全研究所(現独立行政法人労働安全衛生総合研究所)機械研究部に転任。現在に至る。技術士(総合技術監理部門、機械部門)。



蓬原 弘一(ふつはらこういち) 長岡技術科学大学機械系教授
東京電機大学電子工学科卒業。同年日本信号株式会社入社。2031年長岡技術科学大学客員教授。2004年同大学教授。現在に至る。主にフェールセーフシステムの研究・開発・設計に従事。日本機械学会、電気学会、電子情報通信学会、日本ロケット学会、日本信頼性学会会員、工学博士。



古澤 登(ふるさののぼる) 豊栄工業(株)代表取締役専務、元トヨタ自動車(株)安全衛生推進担当部長
トヨタ自動車(株)(現)安全衛生推進部所属後、一貫して安全衛生活動の全社統括を担当し各種活動を確立。トヨタグループ等関係会社へ活動を展開。同部の担当部長を経て、平成16年7月転籍し代表取締役専務に就任。中央労働災害防止協会や日本機械連合会等の各種委員を歴任。その間、緑十字賞、愛知労働局長功労賞などを受賞。講演多数。

この講座のお申込は、「電話」「FAX」「メール」にてお受けしております。ホームページからの「オンライン申込」はご利用いただけません。

Tel 03-3296-4423 FAX 03-3296-4542 Mail academy@meiji.ac.jp

「入会・受講申込書」お申込み開始日

会員 8月21日(木)
一般 8月25日(月)

入会申込

初めて受講される方は、入会金3,000円(3年間有効)をお支払いいただきます。
なお、ご入会にあたっては、講座案内・ホームページ掲載の「入会と受講のご案内」をご確認ください。
「製品の安全学入門」「機械安全とリスクアセスメント」受講の方は入会金が無料となります。

フリガナ氏名	年齢 歳	性別 男・女
住所	生年月日(西暦)	年 月 日
<input type="checkbox"/> 自宅住所 <input type="checkbox"/> 会社住所		
電話番号	Eメール	
FAX番号	携帯電話	
勤務先名	部課・役職	
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社経営・自営 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 学校・医療 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専門職(税理士等) <input type="checkbox"/> アルバイト・派遣 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他	

受講申込

お申込みする講座をご記入ください。割引対象の方は割引特典申告欄の該当項目をチェックしてください。
すでにリバティ・アカデミー会員の方は、会員番号などのご記入をお願いします。

講座コード	講座名				
割引特典申告欄	<input type="checkbox"/> 明治大学カード会員(カード会社名:) <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 明治大学教職員 <input type="checkbox"/> 特別会員 <input type="checkbox"/> 福利厚生会員*				
会員記入欄 ※会員の方のみ記入	<table border="1"> <tr> <td>会員番号</td> <td>氏名</td> </tr> <tr> <td>携帯電話</td> <td></td> </tr> </table>	会員番号	氏名	携帯電話	
会員番号	氏名				
携帯電話					

割引制度

明大カード 福利厚生会員 入会金→50%引 受講料→10%引
学生、教職員 入会金→無料 受講料→学割料金
特別会員 入会金→無料 受講料→20%引

*福利厚生会員:福利厚生倶楽部会員、CLUB CCI会員、ふるむな倶楽部会員、Club Off Alliance、ベネフィット・ステーション会員

お申し込み方法

- 1 入会・講座申込 ↓
- 2 「振込用紙」のお届け ↓
- 3 お支払い ↓
- 4 「受講案内」のお届け ↓
- 5 受講

FAXの場合

この用紙に必要事項を記入して、送信してください。

03-3296-4542

電話の場合

FAX記入項目に従って、必要事項をお伝えください。

03-3296-4423

メールの場合

FAX記入項目に従って、必要事項を送信ください。

academy@mics.meiji.ac.jp

個人情報の利用目的について

次の目的以外に利用することはありません。

1. 受講生への連絡及び受講資料(受講料振込用紙、受講案内、会員証、教材、アンケート等)の送付
2. 講座関連情報のご案内(パンフレット、チラシ、会報等)
3. 受講生に関する資料の作成(名簿、出欠表、講座履修表、統計資料等)

なお、会員の情報を会員の同意なしに第三者に開示・提供することはありません(法令等に基づき提供する場合を除く)。会員の個人情報は、明治大学にて厳重に管理いたします。

明治大学で **ビジネス・プログラム全44コース開講** ビジネスを学ぶ



- 経営戦略セミナーII** 戦略の創造と実行のマネジメント **全5回 ¥24,000**
- 実践Webマーケティング講座** クロスメディアマーケティング戦略 **全6回 ¥24,000**
- 大手総合商社の経営戦略** **全6回 ¥24,000**
- ケース・スタディM&A** その後の経済動向からM&Aの制度まで **全5回 ¥24,000**
- 財務諸表の見方・読み方** 一水曜夜間コース(全6回)/土曜集中コース(全3回) **各コース ¥28,000**
- 経営ゼミナール「P.F.ドラッカーに学ぶ」** 「チェンジ・リーダーの条件」を読む **全8回 ¥30,000**

無料送付 → 詳しくは、講座案内パンフレット「ビジネスプログラム」をご請求ください。

- 1 東京から4分、青山から9分、新宿から10分
御茶ノ水から徒歩3分、神保町から徒歩7分。通学に便利です。
- 2 明治大学教授陣による「理論」と「実践」
ビジネス教育に精通した明大教授陣がコーディネータを務めます。
- 3 キャンパスで学ぶ、会員制度
大学図書館の利用、学内書店での割引等の会員特典があります。
- 4 MBAのファーストステップとして
ビジネス・プロフェッショナルへの第一歩を明治大学から。

資料請求・お申し込み・お問い合わせ



明治大学リバティアカデミー

CAMPUS & OFFICE

駿河台校舎アカデミーコモン11階
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL: 03-3296-4423
FAX: 03-3296-4542
メール: academy@mics.meiji.ac.jp
URL: http://academy.meiji.jp

受付時間

- 平日 10:30~19:00
- 土曜 10:30~15:30
- 休業日
- 日曜・祝日
- 大学指定日

